

「研修プログラムガイド2023」及びウェブ掲載原稿の作成について（案）

（趣旨）

SPOD加盟校において実施するFD/SDプログラムの中で、SPOD加盟校に開放可能なプログラムについては、予め内容及びスケジュールを示すことにより、加盟校の教職員が参加しやすいようにする。また、各加盟校で実施しているプログラムを参考にできるようにする。

（対象プログラム）

全SPOD加盟校の1～5のプログラム

1. FD（主に教員対象）、
2. FD/SD（教職員対象）、
3. プレFD（大学院生・学部生対象）、
4. SD（主に職員対象）、
5. 総合

（研修プログラムガイド全体構成）

これまで同様、全8ページの構成とし、各プログラムの詳細はウェブサイトに掲載する。
なお、2022年度に引き続き、印刷は行わずデータのみ作成する。

（ウェブサイト掲載内容）

- 1.開催県
- 2.対象
- 3.プログラム名
- 4.日程
- 5.時間
- 6.場所
- 7.受講定員
- 8.主な対象者
- 9.対象校
- 10.講師
- 11.目標
- 12.内容
- 13.準備物
- 14.参考資料
- 15.受講者の声
- 16.主催
- 17.申込締切
- 18.申込・問合せ先
- 19.新規・継続の別
- 20.カテゴリ分類
- 21.遠隔配信
- 22.FDレベルマップ
- 23.参考となる写真等

（原稿依頼）

SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）から、加盟校事務担当者へ依頼する。各コア校事務担当者は、各県内加盟校分をとりまとめ、SPOD事務局へ提出する。

（発行時期等）

発行時期：令和5年3月下旬

発行部数：PDFデータのみ

編集責任校：愛媛大学（担当：教育・学生支援機構教育企画室、SPOD事務局）

※作成にあたっては、各コア校と連携・協力して行う。

(作成スケジュール案)

提出締切等	提出いただくもの	提出元→提出先等
各校で定める期日	・ S P O D開放プログラム原稿	研修講師→各加盟校
令和5年1月27日(金)	・ S P O D開放プログラム一覧 ・ 学内向け研修プログラム一覧	各加盟校→各コア校
令和5年2月7日(火)	・ S P O D開放プログラム一覧 ・ 学内向け研修プログラム一覧 ※各コア校においてチェック済みの原稿	各コア校(県内加盟校と りまとめ分) → S P O D事務局
令和5年2月中～下旬	【プログラムガイド】業者初稿原稿渡し 【ウェブサイト】イベント情報入力作業開始	
令和5年3月下旬(予定)	【プログラムガイド】公開 【ウェブサイト】公開	

SPOD開放プログラム一覧

- ①本シートには大学名のみ記入してください。大学名以外は各シートに貼り付けた内容が反映されます。
 - ②研修講師から提出された「SPOD開放プログラム原稿(様式1-2)」のセルをコピーし、シート「001」～「015」に貼り付けてください。
 - ③プログラムについて備考がある場合は、シート「001」～「015」の備考欄にご記入をお願いします。
- シートが余っても構いません。シートが足りない場合は、本エクセルファイルを複製して2つに分けてご提出ください。

大学名

シート	日程	プログラム名	対象	遠隔	新規	マイクロ	ミドル	マクロ	備考 (あればご入力ください)
001			選択してください						
002			選択してください						
003			選択してください						
004			選択してください						
005			選択してください						
006			選択してください						
007			選択してください						
008			選択してください						
009			選択してください						
010			選択してください						
011			選択してください						
012			選択してください						
013			選択してください						
014			選択してください						
015			選択してください						

- (留意事項)
1. 令和5年1月27日(金)までに所属する県のコア校に提出してください。コア校は各県内加盟校の原稿をとりまとめの上、令和5年2月7日(火)までに愛媛大学教育企画課 (spod@stu.ehime-u.ac.jp) に提出してください。
 2. SPOD内講師派遣プログラムはプログラムガイドに別途掲載するため、本シートに記載する必要はありません。

※リーフレット版プログラムガイド及びウェブ掲載原稿作成に必要ですので以下1~23の網掛け部分に記載してください。

項目	記載内容等	備考																																							
1 開催県	選択してください	【徳島, 香川, 愛媛, 高知】から選択																																							
2 対象	選択してください	【FD, FD/SD, SD, プレFD, 総合】から選択																																							
3 プログラム名																																									
4 開始日程	※例 2023/4/5	半角数字, 西暦/月/日の形式で入力してください。																																							
終了日程	※複数日開催の場合のみ	複数日開催の場合のみ半角数字, 西暦/月/日の形式で入力してください。																																							
5 時間	※例 13:00~15:00	半角数字																																							
6 場所	〇〇大学〇〇キャンパス〇〇棟〇号館〇階〇△教室	場所は具体的な教室名(建物名, 階)まで入力してください。																																							
7 受講定員		半角数字																																							
8 開催方法		記入時の予定をお知らせください。 例: 対面, 遠隔(同期), 遠隔(非同期), 遠隔・対面の併用 など																																							
9 主な対象者		<p><記入例>教員, 教職員, 新任教員, 主任級職員 等</p> <p>■主な対象者</p> <p>対象者は, ニーズとのミスマッチを防ぐために, 教員, 職員, 大学院生などの職種やニーズを明確に表現してください。複数を対象としても構いません。</p> <p>例1) 授業でのグループディスカッションやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員</p> <p>例2) FDを担当する教職員</p> <p>例3) 新任教員(但し, 授業担当経験5年以上を除く), 参加を希望する教員</p> <p>例4) 全教員, とりわけ講義を持つようになって間もない教員</p> <p>例5) 職員(課長補佐以上)</p> <p>また, 記載方法については, 以下の点にご留意ください。</p> <p>・記載の統一</p> <p>「事務職員, 大学職員等」→「職員」</p> <p>「新規に採用された教員, 初任者教員等」→「新任教員」</p> <p>・対象校を表す言葉(〇〇大学, SPOD加盟校等)を使用しない。</p> <p>「・・・であるSPOD加盟校の職員」→「・・・である職員」</p> <p>「・・・以上の愛媛大学教職員」→「・・・以上の教職員」</p> <p>・役職を統一する(大学独自の役職名ではなく, 一般的な役職名にする)。</p> <p>「グループリーダー」, 「副課長」, 「チームリーダー」等は使用せず, 「課長」, 「課長補佐」, 「係長」, 「主任」, 「係員」とする。</p>																																							
10 対象校		<p><記入例>SPOD全加盟校, 〇〇県内SPOD加盟校 等</p> <p>■対象校(地域別, 設置形態別)</p> <p>できる限りSPOD全加盟校に開放してください。記載方法は, 以下例示のように記載してください。</p> <p>例1) SPODの全加盟校に開放する場合・・・SPOD全加盟校</p> <p>例2) 愛媛県内加盟校のみに開放する場合・・・SPOD加盟校(愛媛県内のみ)</p> <p>例3) 短期大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校(短期大学のみ)</p> <p>例4) 愛媛県内の私立大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校(愛媛県内の私立大学のみ)</p>																																							
11 講師		講師氏名(所属大学 所属部署名) <記入例>〇山〇夫(〇〇大学〇〇)																																							
12 目標																																									
13 内容		対象プログラムがどのようなことを行うか分かるように詳しく記載してください。例えば, 章毎のタイトルなどを明示するとわかりやすくなります。																																							
14 準備物		あれば入力してください。 <記入例>自身が担当する授業のシラバス																																							
15 参考資料		あれば入力してください。 <記入例>著者名(発行年)『書籍名』(出版社)																																							
16 受講者の声		アンケート等から, あれば入力してください。																																							
17 主催		<記入例>愛媛大学 教育企画室																																							
18 申込締切		<記入例>要問合せ, 開催日〇週間前・先着順 等																																							
19 申込・問合せ		<記入例>担当部署, 連絡先メールアドレス																																							
20 新規・継続の別	選択してください	新たに開催または新たに研修プログラムガイドに記載するプログラムに加えて, 前年度から大幅に内容を変更したプログラムも「新規」としてください。																																							
21 テーマ	選択してください	<p>選択肢【授業の基本/参加型学習/ICT/多様な学生への支援/総合プログラム/プレFD/ポートフォリオ/マネジメント/職場における多様性と健康/授業改善/ビジネススキル/リーダーシップ/組織開発/その他】</p> <p>テーマは, SPODウェブサイトのイベント絞り込み検索に使用します</p>																																							
22	FDレベルマップ (FD研修のみ要入力)																																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">マイクロ</td> <td rowspan="5">個々の教員 授業・教授法</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">ミドル</td> <td rowspan="5">教務委員 カリキュラム・プログラム</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">マクロ</td> <td rowspan="5">管理者 組織の教育環境・教育制度</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> </tr> </table>		マイクロ		個々の教員 授業・教授法	フェーズ		I 導入 (気づく・わかる)		II 基本 (実践できる)		III 応用 (開発・報告)		IV 支援 (教えられる)		ミドル		教務委員 カリキュラム・プログラム	フェーズ		I 導入 (気づく・わかる)		II 基本 (実践できる)		III 応用 (開発・報告)		IV 支援 (教えられる)		マクロ		管理者 組織の教育環境・教育制度	フェーズ		I 導入 (気づく・わかる)		II 基本 (実践できる)		III 応用 (開発・報告)		IV 支援 (教えられる)		<p>左表の太枠内, 該当するフェーズに〇を入れてください。(選択式)</p> <p>レベルは「マイクロ・ミドル・マクロの3段階 × フェーズI, II, III, IVの4段階」で表されます。</p> <p>※本項目はFDレベルマップのため, SDプログラムは入力不要です。</p>
マイクロ		個々の教員 授業・教授法																																							
フェーズ																																									
I 導入 (気づく・わかる)																																									
II 基本 (実践できる)																																									
III 応用 (開発・報告)																																									
IV 支援 (教えられる)																																									
ミドル		教務委員 カリキュラム・プログラム																																							
フェーズ																																									
I 導入 (気づく・わかる)																																									
II 基本 (実践できる)																																									
III 応用 (開発・報告)																																									
IV 支援 (教えられる)																																									
マクロ		管理者 組織の教育環境・教育制度																																							
フェーズ																																									
I 導入 (気づく・わかる)																																									
II 基本 (実践できる)																																									
III 応用 (開発・報告)																																									
IV 支援 (教えられる)																																									
23 参考写真等	選択してください	【あり, なし】から選択 参考となる写真, ポンチ絵(スライド)等があればお送りください。																																							

令和5年度学内向け研修プログラム一覧

所属機関名		担当部署	
担当者氏名		Eメール	
電話		ファックス	

研修名	対象者	開催時期	目的・内容

(留意事項)

- 本一覧は、令和4年度に各大学等において、学内向けに行うFD/SD/プレFD研修・研究会等を、他の加盟校が参考にするために「研修プログラムガイド2022」やSPODウェブサイトに掲載予定ですので、**令和5年1月27日(金)までに**所属する県のコア校に提出してください。コア校は各県内加盟校の原稿をとりまとめの上、**令和5年2月7日(火)までに**愛媛大学教育企画課(spod@stu.ehime-u.ac.jp)に提出してください。
 - SPOD内講師派遣プログラムについては、記載不要です。
 - 「令和4年度学内向け研修プログラム一覧(参照1)」を参考に記入してください。
- ※開催時期について、未定の場合は「〇月中旬」、「未定」等で構いません。
- ※適宜枠を増やしてご利用ください。

(記載例)

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月8日(月)～9日(火)	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。

令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

活動報告書構成案

【本編】

1. 会長挨拶
2. SPOD事業の概要
3. 令和4年度事業計画
4. 令和4年度全体総括
5. 令和4年度活動実績
 - (1) 共通事業（SPODフォーラム、その他共通事業）
 - (2) FD事業
 - (3) SD事業
 - (4) SPOD運営
6. 令和4年度各加盟校の取組報告
7. 令和3年度事業評価委員会からの事業評価について
8. 令和5年度事業について

【資料編】

各種アンケート結果、研修詳細、会議等議事要旨 他

- (1) 共通事業（SPODフォーラム、講師派遣プログラム等）
- (2) FD事業
- (3) SD事業
- (4) SPOD運営（総会、ネットワークコア運営協議会 等）
- (5) 参考資料（ネットワーク規約、役員名簿等）

=====

※昨年度からの変更点

- ・印刷は取りやめ、データのみ作成する。
- ・令和5年3月、SPODホームページで公開する。
- ・本編、データ編ともにカラーとし、写真や図表を多く取り入れる。
- ・SPODフォーラムシンポジウムの詳細（文字起こし）は作成しない。

令和4年度 FD／SD活動の取組報告

学校名： 学校名を記載してください。

【令和4年度の教育改革に関わる動向】

令和4年度の貴学におけるFD／SD活動について総括コメントを記載してください。

【FD／SDの取組事例ハイライト】

令和4年度に実施したFD／SDの取組事例について記載してください。

事例については、SPOD事業に関するものでも、貴学独自の取組でも構いません。

事例数に特に制限はありません。

【成果及び波及効果】

FD／SDの取組成果及び成果に関する情報の公表（手段・媒体）について記載してください。

【FD／SDに関わる次年度の課題】

令和4年度の取組内容を振り返り、次年度の課題や目標を記載してください。

※報告書はA4用紙1枚以内（目安：1,000～1,200字程度）で作成してください。

なお、補足資料がある場合は、別途添付してください。

※可能な限り、写真や図表の添付をお願いします。

※上記4項目について記載していただければ、内容や書き方は自由です。

=====

※本報告書は令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」活動報告書に掲載する予定です。

=====

令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総会及びFD／SD分科会 実施要項（案）

1. 総 会

日 時：令和5年3月中旬～下旬

実施方法：書面開催

出 席 者：各加盟校の代表者等

審議事項：

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第9条6項に基づく事項

2. FD分科会

日 時：令和5年1月～2月（予定）

実施方法：オンライン開催

出 席 者：各加盟校のFD担当者等

議 題：

令和4年度SPOD活動報告

令和5年度SPOD活動計画 等

※主にFD事業について、広く意見交換を行う

3. SD分科会

日 時：令和5年1月～2月（予定）

実施方法：オンライン開催

出 席 者：各加盟校のSD担当者等

議 題：

令和4年度SPOD活動報告

令和5年度SPOD活動計画 等

※主にSD事業について、広く意見交換を行う

令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

会計監査実施要項（案）

日 時：令和5年3月8日、9日

場 所：高知工科大学（3月8日）、阿南工業高等専門学校（3月9日）

出席予定者：監事 磯部 雅彦（高知工科大学長）

監事 箕島 弘二（阿南工業高等専門学校長）

対 応 者：中井俊樹企画・実施統括者（愛媛大学）、SPOD事務局

実施内容：①令和4年度事業予算執行状況報告

②令和4年度事業実施状況報告

③質疑応答

※会計監査結果については、令和5年3月中旬～下旬開催のSPOD総会において報告予定。

令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)
事業評価委員会実施要項(案)

(趣旨)

令和4年度における「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(ネットワーク略称=SPOD)」の活動内容や前年度の評価委員からの指摘事項に対する改善状況について、実績報告書をもとにSPOD事業評価委員会委員から評価を行っていただき、今後の事業推進に役立てる。

(主催)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(日程)

令和5年3月1日(水)14:00~17:00

(場所)

愛媛大学城北キャンパス E.U. Regional Commons 3階
地域サステナビリティスペース(松山市文京町3番)

(参加予定者)

SPOD事業評価委員会委員

佐藤 浩章 委員 (大阪大学)

高野 修 委員 (広島経済大学)

伊勢戸 康 委員 (大学コンソーシアム京都)

SPOD関係者

ネットワークコア校のSPOD-FD/SD担当者

(事務担当)

SPOD事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

【参考】平成29年度第3回コア運営協議会(H29.7.5開催)資料1「平成28年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について」より抜粋

4. SPOD事業評価の在り方

SPOD事業評価委員会については、これまで実績報告書に基づく評価のみ行っていたが、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、SPOD事業視察の場を提供する。これを踏まえ、委員会開催を委員任期の最終年度に開催することとし、委員在任中にSPODフォーラム等のSPOD事業を視察していただいた上で、総合的な意見・評価を委員会で行っていただくこととする。

令和4年度 全学FD推進プログラム 第18回大学教育カンファレンスin徳島

参加費
無料

令和4年 **12月27日** (火)

9:00 ▶ 17:30 (8:30受付開始)

開催方法・開催場所

オンライン (Zoom)

一部対面会場 (地域創生・国際交流会館)

カンファレンスに関する詳しい情報はコチラ ▼

<https://uss.ait.tokushima-u.ac.jp/?id=7PJerp62>

徳島大学では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施します。

主要プログラム

午前

9:00 ▶ 9:10 開会挨拶

9:15 ▶ 10:15 □頭発表A・B・C
9件

10:30 ▶ 12:00 ワークショップ
1件

午後

13:00 ▶ 14:00 ポスター発表
8件

14:15 ▶ 15:15 □頭発表A・B・C
9件

15:30 ▶ 17:30 特別講演 コロナ禍で学生はどう学んでいたのか

—遠隔授業と対面授業の効果的な共存を見据えて—

関西大学 教育推進部教育開発支援センター

准教授 **山田 嘉徳先生**

2020年度、新型コロナウイルス感染拡大により大学授業は実施形態の変更を余儀なくされました。私はその中でプロジェクトを立ち上げ、コロナ禍での学生の学びの実態がどのようなものであったのかを調査してきました。

今回は、プロジェクト立ち上げの経緯や取組内容、成果についてご紹介するとともに、今後ますます多様化が進む大学教育において、遠隔授業と対面授業の効果的な共存について考えたいと思います。



参加申込 **申込締切** 令和4年**12月26日**(月)正午

以下の URL または
二次元バーコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/UpSRnbnS06>

※メールアドレスはお間違いのないようご注意ください。また、携帯電話のアドレスは事務局からの案内メールが届かない場合がありますので、パソコンのメールアドレスをご登録ください。



注意事項

- 参加申込フォームにおける登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛には、自動返信のメールは届きませんのでご注意ください。
- オンライン開催の為のパスワード等の情報については、令和4年12月23日(金)に随時ご案内予定です。
- 12月26日(月)正午以降のお申し込みについては事務局へお問い合わせください。

●会場でもご参加いただけます●

当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。

会場：徳島大学常三島キャンパス
地域創生・国際交流会館 1階



※駐車場が限られているため、できるだけ公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、急遽、全面オンラインに切り替える可能性があります。

お問い合わせ・連絡先

大学教育カンファレンスin徳島事務局
徳島大学学務部教育支援課教育企画係

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
TEL 088-656-7686 E-mail kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

当日の連絡先：090-5710-6043 ※この連絡先は当日のみ有効です。

令和4年度 徳島大学全学FD推進プログラム 「第18回 大学教育カンファレンス in 徳島」プログラム

会期：令和4年12月27日(火) 開催方法・開催場所:オンライン(Zoom)、一部対面会場(地域創生・国際交流会館)

9:00~9:10 開会挨拶

<p>9:15 10:15</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 A</p> <p style="text-align: center;">対面会場から配信</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ガチャ課金動機とゲーム利用方法から見たゲームの適切な利用に関する基礎的検討 ②大学生の深い学びにおけるメタ認知について ③授業評価アンケートにみる評価と課題 —教養教育科目「ことばと社会」の授業改善に向けて— 	<p style="text-align: center;">口頭発表 B</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オンライン環境を教室へ:情報通信技術活用の制約をどのように克服するか ②入学オリエンテーションでのYoutubeを用いた防災学習について ③徳島大学における入試広報の検討 —入試広報アンケート分析から— 	<p style="text-align: center;">口頭発表 C</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域企業と学生の早期関係構築を目的とした「エクスターンシップ」の成果と今後の展望 ②鳥人間プロジェクトでのワークショップを経た活動内容の変化 ③PJWSを受けてプロジェクト活動と加太共同打上実験の成果
<p>10:30 12:00</p>	<p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px;">ワークショップ</p> <p>■ オンラインでインプロ(即興演劇)を体験してみよう! -Give your partner a good time!-</p>		
<p>13:00 14:00</p>	<p style="background-color: #fff3cd; padding: 5px;">ポスター発表 対面会場に一部ポスター設置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">①SPOD-FDマップ作成までのプロセスとその成果 <li style="width: 50%;">⑤3Dプリンタを活用したAI/IoT実習用ロボット教材の開発 <li style="width: 50%;">②デジタル化が進む歯科診療の現状紹介と歯科補綴学実習における学習内容の検討 <li style="width: 50%;">⑥学生プロジェクト活動における業務負担とその軽減への考察 <li style="width: 50%;">③学生活動と効率的な運営とマネジメント <li style="width: 50%;">⑦対面授業と遠隔授業を取り入れた学生実習の実践 (対面会場から配信) <li style="width: 50%;">④COVID-19の影響下での学生のイノベーションプラザにおける機器ライセンス取得状況の変化と今後の取り組み <li style="width: 50%;">⑧ロボコンプロジェクトにおけるワークショップ後の活動目的の見直しと変化 (対面会場から配信) 		
<p>14:15 15:15</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 A</p> <p style="text-align: center;">対面会場から配信</p> <ol style="list-style-type: none"> ④徳島大学における学習支援 Study Support Spaceの存在意義 ⑤高大接続科目・数学でのオンラインテストの学習効果について ⑥科学リテラシー教育を取り入れた消費者教育授業の実践 	<p style="text-align: center;">口頭発表 B</p> <ol style="list-style-type: none"> ④多様な社会人と実践的に学ぶリベラルアーツ教育の効果検証 ⑤双方向学修をめざす「時事問題」授業の展開 ～短大生のクラス参加を積極的にさせる試み～ ⑥A Step towards Assessing Japanese Culture Proficiency of International Students in-class 	<p style="text-align: center;">口頭発表 C</p> <ol style="list-style-type: none"> ④大学での研究シーズを活用した共創的ワークショップの展開の一考察 —光科学を中心とした高大連携の取り組みから— ⑤阿波電鉄PJにおける対話型ワークショップを経たメンバーの自主的な活動についての経過報告 ⑥学生プロジェクト運営でプロジェクトを活発化させるために有効であった手法の結果とその考察
<p>15:30 17:30</p>	<p style="background-color: #17a2b8; color: white; padding: 10px;">特別講演 対面会場にてスクリーンに投影</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; color: #17a2b8;">演題: コロナ禍で学生はどう学んでいたのか</p> <p>—遠隔授業と対面授業の効果的な共存を見据えて—</p> <p>講師: 山田 嘉徳先生(関西大学 教育推進部教育開発支援センター 准教授)</p>		